

吉坊 ゆらり 吐 愛宕山



主催 公益財団法人 有斐斎弘道館

二〇一八年

四月七日〔土〕

十八時開演 (十七時半開場・呈茶)

へ愛宕山坂エ坂二十五丁目の茶屋のかか…
春の京の野辺を越え、芸者舞妓を引き連れて
愛宕山へと向かう一行に、箱間の一八・繁八
も弁当担いで山登り。

谷底の小判を拾えば我がものと、一八考え出したのは…?

上方落語の代表作とも言える、見ても聞いても楽しい一席。恒例の凸凹コンビ吉坊・木ノ下によるトークもお楽しみに！

番組 呈茶

テーマに合わせて特別につくれる菓子をお楽しみください

落語

桂吉坊による「愛宕山」

トーク

ゲスト・木ノ下裕一と共に
歌舞伎芝居「お染久松」
などについて語りつくします

会費 三五〇〇円 (茶菓子代込)

会場 有斐斎 弘道館

京都市上京区上長者町通新町東入ル
元土御門町五二四・一

申込

〇七五・四四一・六六六二
kouza@kodo-kan.com

桂吉坊 かつらきちぼう

一九八一年兵庫県生まれ。一九九九年、桂吉朝入門。二〇〇〇年より3年間、桂米朝のもとで内弟子修業。以後、古典落語を中心に舞台を重ねる。二〇〇七年には「地獄八景 浮世百景」で役者としてもデビュー。二〇一二年、咲くやこの花賞大衆芸能部門受賞。

木ノ下裕一 きのしたゆういち

一九八五年和歌山市生まれ。小学校三年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後現代の舞台芸術も学び古典演目上演の演出や監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。その他、古典芸能に関する執筆や講演など、多岐にわたって活躍中。